

会議の名称	第4期 第9回戸田市男女共同参画推進委員会
開催日時	令和6年8月8日(木) 午前10時～11時30分
開催場所	上戸田地域交流センター3階 研修室
委員氏名	<input type="checkbox"/> 小野塚 加代 <input type="checkbox"/> 杉山 歩 <input type="checkbox"/> 茂呂 理絵 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 高木 美香 <input type="checkbox"/> 田口 香代子 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 結城 剛志 <input type="checkbox"/> 大沼 公子 <input type="checkbox"/> 谷島 宏美 <input checked="" type="checkbox"/> 横田 秀子 <input type="checkbox"/> 加藤 ちあき <input type="checkbox"/> 橋爪 祐介 <input type="checkbox"/> 井上 明美 <input type="checkbox"/> 矢作 俊幸 (◎委員長 ○副委員長) (□出席 ■欠席)
事務局	小林課長、清水副主幹、茂木主事
議題	【議事】 子ども向けパンフレットの見直しについて 【報告】 戸田市パートナーシップ・ファミリーシップ制度に係る届出について 【その他】 (1) 上戸田地域交流センターイベント(ピンクリボンフラ) 10月13日(日)での啓発活動について (2) 第4期最終回の議題について
会議の経過	会議の詳細は別紙のとおり
会議資料	・会議次第 ・資料1 子ども向けパンフレットの見直しについて〈アンケート結果まとめ〉 ・子ども向けパンフレット ・「つばさ」第71号

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>1 開会</p> <p>2 委員長あいさつ</p> <p>3 議題</p>
事務局	<p>次の資料を用いて事務局から説明</p> <p>・資料1 子ども向けパンフレットの見直しについて〈アンケート結果まとめ〉</p>
委員長	<p>ご説明ありがとうございました。また皆さまからアンケートを非常に丁寧にお答えくださりまして、ありがとうございました。とても適切な修正、変更のご提案だと思いますので、これを全部採用してもいいのではないかなという感想を持ちました。それでどういうふうに議論を進めようかなと思っているのですが、アンケート結果を見ていただいて、まず全体の印象からお話いただいて、そのあと、個々の箇所の検討をしていくという手順でよろしいでしょうか。</p> <p>ではまず、このパンフレットの見直し作業の全体について、ご意見やご質問や確認したいことがありましたら、はじめにお願いいたします。</p>
委員	<p>ボリュームはA3見開き1枚に収めるという前提で進めるのですか。他市はちょっと長くて、ホームページを見ると、場所によってはB5かもしれないですが、5ページくらいあります。多いところは10ページくらいの冊子もあります。ただ、このアンケートにもあったのですが、ここにあまり性的なこととか、ジェンダーに関することはないので、ぎゅっとまとまるといいなと思ったのですが、そもそもこのボリュームかというのを確認させていただきたいと思いました。</p>
委員長	<p>では事務局から、ボリュームについて検討の余地があるかご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>事前にきちんとご案内できず失礼いたしました。今、事務局とい</p>

	<p>たしましては、過去何年もこの形でやっていて、特にここが使いにくいですとかという現場からの声をいただいておらず、小学校5年生向けに授業等でご案内するボリュームとしてはちょうどいいかと認識しておりましたので、現状の私どもの考えとしては、同じようにカラーのA3両面刷りで閉じて開くものというふうに考えておりました。ご意見としては、もちろんいただく余地はございます。</p>
委員	<p>ボリューム増やせばお金がかかるというのは普通で、当然予算とかもあると思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。予算といたしましては、これと同じ仕様で、内容のデザイン変更という形で今年度予算は計上しております。おっしゃるとおりページを増やすとその分印刷できる部数が減ってしまうという悩みがございます。</p>
委員	<p>承知しました。ありがとうございます。</p>
委員長	<p>そうなりますか。</p>
事務局	<p>ページを増やすほど、やはりその分、デザイン料ですとかいろいろな経費がかかる関係で、シンプルに両面印刷のものを、真ん中折りをして、というのが一番経費としてはかからないものですし、学校現場で、特にこのボリュームが少なくてもっと内容を増やしてほしいというアンケートは、過去のものを確認しても特にいただいているはいないです。逆に今の内容でボリュームが過ぎるといったこともない状況ではございます。</p>
委員	<p>イメージなのですけれども、体裁としてはこれくらいのボリュームは小学5年生が学校で受け取って持ち帰ってきて、一読できる限界くらいかなという感覚がありまして、このサイズ感とかもランドセルに入ることを考えるとほど良いのかなと思います。それを考えると、じゃあこんなに大きくビリーちゃんリブちゃんの説明はいるのかとか、中身のスペースの精査というのをしてもいいのかなとは思いました。例えばこの、ビリーちゃんリブちゃんのところとかもいいのですが、あいパルの写真を載せるとか、何かあったらここに相談に来てねと言えるような形で、一つ一つにきちんと意味を持たせて、このA3両面全部使っていけると良い</p>

	なと思います。
委員長	そうですね。小学生の子どもたちにもうちょっと、あいパルの利用を促すような形にしてもいいかもしれないですね。
委員	結局、この冊子の考えてみようというところと、あと、中の男女共同参画について本で調べたり勉強したりして、自分にできることを考えてみましょうと、結構交互に語りかける内容になっているので、困ったらあいパルで相談に乗ってもらえるよとか、身近な人と話し合ってみようとか、一人で考えてみよう、調べてみようじゃなくて、開けた内容というか、呼びかけにしても良いと思います。結局その子どものジェンダー観みたいなのって、親きっかけだったりするじゃないですか。お父さんがこう言っている、お母さんがこう言っている、家ではこういう分担になっているところだって必要と思うので、これをもとに話し合ってみようという感じの出し方をできるといいのではないかなと思います。
委員長	はい。スペースのことで言うと、男女共同参画の説明がくどいかもしれないなというふうに感じておまして、これを作ったときは、この言葉のなじみが薄かったので、しつこく説明を入れたのですけれども、今ではあんまりこの用語にこだわらなくて、内容を説明する形にしてもいいのかなというふうに思います。
委員	本当にそう思いますし、順番的に男女共同参画ってなんだろうから始まって、男女共同参画とは、と入ってきて、後ろに参画ってなんだろうと入ってくるというこの順序とかもやっぱり非常にリズムが悪いというか、入ってこないの、その辺は整理したいなと思います。
委員長	これは条例を説明するのが目標だったのですよね。
委員	そうですね。もともと、大人のやつがあって、これを作ったのですよね。
委員長	条例ができたよ、ということが言いたかったのですよね。
委員	男女共同参画という言葉の説明が散らばりすぎている気がして

	<p>いて、今おっしゃってくださったように、6ページあるなかで、4箇所共同参画とは、と言っていて、なんなら1番大事そうなのってここじゃないですか。どういう意味ですかという問いかけが大事です。「なんだろう、なんですか、知っていますか」となると、問いかけや考えるというのをメインにするのか、それとも具体的な役割分担というか、協力しあってとするのか、まとめた方が良くと思います。内容はすごくいいとは思いますが、散らばっている感じを印象としては感じられました。</p>
委員	<p>レイアウトの話をするのであれば、男女共同参画ってなんだろう、参画ってなんだろうというのをもうここで終わらせたいですよ。それから「知っていますか、こうですよ、詳しくはこうですよ」という流れにしたいです。</p>
委員	<p>これだけ枠があれば、それでまとまると思うので、「こういうものです、具体的にはこういったものです、困ったらここに相談できます」みたいな感じで、進んでほしいなと思います。</p>
委員長	<p>そうですね。 作成当時は本当になんだろうという感じだったのですよね。</p>
委員	<p>これは平成29年発行と書いてあるので、そのころから今だと考え方も変わっているので、それをせっかく直すのだったら、今に合った方が良くということですよ。言葉とか考え方とか、だいぶ変わっていますよね。</p>
委員	<p>これを作った当時いたのですけれど、今思うとやっぱり男女、イラストで青が赤をいじめている感じとか、ちょっと引っ掛かりはあったのですけれど、まだ直すほど、これもう駄目でしょうというほどではなかったのです。「できるわよ、なるのよ」みたいなのも、うーんと思いつつも、アウトみたいな感じじゃなかったのですが、本当に変わったなと思うので、新しくしたいです。</p>
委員	<p>私も読み直してみても、あまり全体的なところで何とも言えないのですけれども、まだ私も男女共同参画推進条例ありきで作っているので、それをわかってもらったためっていうのがまだ抜けていないです。ただ見開きの男女共同参画ってなんだろうって言って、左に書いてあるこの枠の中をもうちょっと真ん中に持っていく</p>

	<p>なり、何かを工夫しないと、どこで誰が何を言いたいのだというのは思うので、さっきおっしゃったようにやっぱりきちっとまとめて、こちらが条例の中で訴えたいこと、みんなにきちんとわかってもらいたいこと、それからどうしたらいいとか、どこに相談に行ったらいいとか、その次ということで、順を追ったらいいかなと思います。ただ、このトップの部分は、なんだろうって書いてあるのにまたあるっていうのは、やっぱり先生も困るのではないかなとは思いました。先生、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>考えてみましょうとか、考えてみてくださいっていう問いかけ調になっているのを、もう変えるという感じですかね。全体的に投げかけ的呢をこうなのですよっていう、そういう知識とか、教えるように持っていくと良いと思います。</p>
委員	<p>当時こういうものなのですよというところのベースがない状態だったので、考えてみましょうと書いてあったと思うのですが、男女共同参画ってこういうものですよという、共通認識みたいなものがある程度できてきていると思うので、それを前提に考えていくよという形になるといいかなと思います。なので、本当にこれは別に結論じゃなくて「こういうものです、だから」というところに進めていきたいので、これはもう1ページ目に出してしまっているのではないかなと思います。当時は用語の意味が分からなかったから引っ張ったのかなというのをなんとなく覚えているのですが、「男女共同参画って知っていますか？何々です」と出してしまってから、具体的にはどういうことなのか、自分ができることってなんなのかというのを中でもうちょっと見せていくというか、その上で考えていこうという感じが良いと思います。</p>
委員	<p>ボリュームがこれだと難しいかなと思うのですが、他の地域では全部マンガで説明なのですよね。男の子と女の子が話している会話にこういうものを盛り込んであるようなものです。このボリュームだとちょっと大変なのかなと思い、それで先ほど確認をしたのです。子どもだとマンガはあまり重たく受け止めないで読みやすいかなと思います。あと、他市では表で「ゴミ捨てをする、洗濯をする、食器を洗う、食事を作る」とかそういう項目があって、お父さん、誰とか、そこにマルをつけるものがあります。そうするともしこれを手にして、先生から家でやってみてという感じだ</p>

	と、じゃあ、お父さん何をやっているかなとか、やらざるを得ないみたいになります。そうするとぼく何もマルがついてないとか、お母さんいっぱいマルが付いたなどというのを子どもが認識するきっかけになり、スペースが許せば小さい四角い表か何かを入れられたら、家族で話をするきっかけなるかなと思いました。
委員	分担を書き出してみましようみたいなものがあったらいいのかなと思うのですが、具体例を出すと、例えばおじいちゃんおばあちゃんがいる家とか、養育者が両親でない場合とか、働けない人がいる場合とかにいろいろな配慮が必要になってきて、また別のところで難しくなってくるかなというのがあるので、うまい具合に入れられるといいですよ。
委員長	スペースの問題なのですけれども、パンフレットは、紙というイメージで考えていると思うのですが、今、子どもたちみんなパソコンを配給されていますので、電子版も検討してもいいのかなと思いますが、いかがですか。
事務局	電子版についてもおっしゃる通り、今、電子デバイスは皆さん持っていますし、配っていますので、紙での発行にこだわるわけではなく、並行してハイブリッドバージョンですとかということも、もちろん可能かとは思いますが。
委員長	基本的な情報は紙でパンフレットを配布して、マンガとか分担表とか、そういう作業させるようなものは電子版とか、そういうアプリを使ってもいいかなと思います。
事務局	一点、もちろん、検討の余地があるというところと、ただ他方で、市から教育委員会に依頼して配ってもらっている、今までのやり方と変わってきてしまう手順になるかと思うので、そこは教育委員会の事務方の方に確認をして、できることとできないことについては整理が必要かとも思います。
委員	家には小学生と中学生がいますけれども、やはり作業するのはパソコンでやっています。それを考えると持ち帰って家族と話すとか、自分でどこかに取っておいて困ったときに開けるような位置付けになってくるのかなと思うので、こっちはかいつまんで言いますか、電子の方をベースにできるのであれば、インデックス

	<p>的な内容にしてもいいのかなと思います。</p>
委員	<p>私はすごくそちらの意見に寄っていて、今、戸田市はせっかくみんな、モバイルを小中学校に持っています。裏にもQRコードを載せたらどうですか、というのが私の意見ですが、先ほど言ったマンガとか分担表とか全部、その都度QRコードを付けちゃえば、学校でこうやってQRコードを読みながら、マンガの次のページに行く方がきっと情報量としても良く、また一つの作業をしたという記憶にもなります。</p>
委員	<p>これはすぐには実現可能な範囲ではないのかもしれませんが、学校の先生に説明をしてください、と言って渡すのは現実的に難しいところだなと思っていて、例えばですけれども、動画を作り、「私たちの方でこれはこういうふうに読んでほしい、戸田市にはこういう条例があります、こういうものです」としゃべっている動画を撮り、それをみんなで見てもらうというのがいいのかなと思います。</p>
委員	<p>その方が先生への負担も少ないし、先生がどう説明していいのかという精度や熱意の差なども出てきてしまうと思うので、戸田市男女共同参画推進委員会からというものが1本あれば効率的だし品質も保てるのかなと思います。</p>
委員	<p>学校現場からいいのでしょうか。おそらく男女共同参画といったときに、どこの授業として位置付けなきゃいけないと考えていかなきゃいけなくなるので、授業として取り上げるというのは、一つの時間として取るのはなかなか難しくなる可能性はあります。ただ、男女、ということや役割分担ということで考えれば、道徳の授業であったり、家庭科の授業であったりとつながることがあると思います。</p> <p>先ほどお仕事の分担表という意見もありましたが、実際に5年生で家庭科の授業でもやっていることです。取り入れて、家族で分担しているとか、自分がどういう役割で仕事をするとかです。2年生でも生活科で家庭の仕事をするとかっていうところが出てくるので、そういうことを考えたときに、どこかの授業に位置付けてということをお皆さんに共通理解していただければ、正直ボリューム的にはこのくらいでもいいのかなという気はします。そこからどうやって深めていくかというのは、教科でそれぞれやって</p>

	<p>いってもいいのかなと思います。</p> <p>たくさんボリュームがあつてしまうと、家庭科にもあつてここにもあつてとなったときに、逆に使わなくなってしまったらもったいないような気がします。そういうふうに私たち教育現場もこういうところに他の教科とつなげながら指導していきましょう、ということをしてPRしていきますけれども、あまりにたくさん作ってしまうと複雑になってしまうのかな、と懸念するところも若干ありますので、ボリューム的にはこのくらいでもいいのかなと思います。参画という言葉がたくさん散りばめてあるので、そこは精査した方がいい気がします。</p>
委員長	<p>大変有益なご意見ありがとうございます。もし授業に位置付けて使っていただける場合、私どもの方で“この教科”というふうに考えるのはおそらく難しく、学校現場の方から、この授業のこの単元だと使いやすい、その学習指導要領はどうなっていて、教科書がどうなっていて、というようなことを具体的に教えていただけるとそれに対応したパンフレットを作りやすいのかなと思います。</p>
委員	<p>6年間になってしまうので、全部ピックアップするのは大変ですけど、例えば家族愛であったり男女のことであったりというのは道徳の中にも入ってきたり、家庭科の中に入ってきたりするので5年生で配っていただければ、そこに合わせてぜひ取り入れてくださいということ配っていただければそれで十分ではないかと思います。</p>
委員長	<p>そうすると5年生くらいの子が読める内容で、考えるといいかもしれない。</p>
委員	<p>参画という言葉自体が意外と5年生はわかっていない可能性があります。ですので、共同参画ってなんだろう、という言葉はやはり必要だと思いますし、それが1ページ目もあつて2ページ目もあると少しつこくなるかもしれないので、そこを精査すればいいのかなという気はしました。</p>
委員	<p>内容が盛りだくさんになり、情報が多すぎてしまうと、子どもには入ってこなくなります。ですので、程よいイラストがあつて、程よい大きな文言があつてという方が子どもはインプットしや</p>

	<p>すい気がします。</p> <p>見るだけでも有効かなと思いますし、授業で何かあったときに、この前、配ったパンフレットのあの部分だねということで、もしデジタル化が今後進むのであれば、またそこでQRコードなどで読み込んでみるなどは可能かなという気はします。早急に、というわけではないのですけれど、もしかしたら今後そういうこともできるのかなと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは所定の時間がまいりました。まだ文言は1つも検討できていないのですけれどもどこまで話を進めようかなというのを考えております。</p> <p>全体的な修正の方向性としては、委員の皆さまがだいたい同意できる意見を出していただいたと思うので、男女共同参画の説明をコンパクトにして、例えば表紙にまとめて、ページをめくっていくときにストーリー性を出して話がつながるように作っていく。そのなかで、家事分担表などのいろいろな工夫ができないかということを検討するというのが大まかな方向でよろしいでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今皆さまからいただいた方向性を基に事務局の方で素案のような形で、文言については今回のアンケート内容を反映したものを作ります。次回の会議等で一度お示しする形でよろしいですか。また、先ほどQRコードという話もありましたが一度デザインしてしまうと、基本的には複数年使うものでございます。このパンフレット自体にQRコード等を入れるのか、それとも別紙扱いにして情報を刷新したときに対応できる形をとるのか等もデザイン会社、印刷会社などに参考に確認したうえで、次回提示するのはいかがでしょうか。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは最終確認で、特に異議のある方がいましたら意見を出していただいて、特段なければ事務局に原案の作成を依頼しまして、11月にできたものを確認するというところでよろしいでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>最後のページの裏表紙の「参画」ってどういう意味ですか？というところを端的にまとめてというのは、私が出しました。そのスペースに、なにか参加型みたいなものを入れるとか、子どもたちにチェックを付けてもらうような。</p>

	<p>ただこれを読んで終わりではなくて、もしくはLGBTQに、ここにはいろいろな性があるよということで、一歩進んだものを入れるかなど、その辺こちらで先に皆さんで話し合っ、このままでいいかを、話し合っはいかがでしょうか。</p>
委員長	<p>はい。皆様いかがですか。</p>
委員	<p>実際この2つの性だけになっているな、と気になっていたんで、入れた方がいいのではないかと思います。その中で、ビリーちゃんとリブちゃんが今は2色なのですが、いろいろな色を入れて欲しいなと思いました。いっぱいいるので、虹のものとかを入れたいなと思いました。</p> <p>話が逸れてしまうのですが、ここのビリーちゃん、リブちゃんの説明欄のところに、あいパルが拠点ですよということと、「つばさ」も読んでねと、「つばさ」というのがあるよというのをいれるとうれしいなというのがありますかね。</p>
委員	<p>これの中にあいパルが入ってないのが不思議。</p>
委員	<p>あいパルあったのですよ。でもあんなにはっきり場所がなく、掲示物がちょっとあるくらいでしたよね。我々から拠点をちゃんと作っ方がいいのではないですか、みたいなことを言っている時期だったのですね。</p>
委員	<p>戸田市では男女共同参画センターなくしますということで決まっ、あいパルを一応、準拠点という形にしました。</p>
委員	<p>当時、仮で借りているみたいになっちゃっね。</p>
委員	<p>それをがんばっくださったのは、あいパルをやってくださっっている方でした。</p>
委員	<p>個人的にあいパルファンなので、せっかくあいパルがあっ、拠点ですっ言える場所があるのに、載っないのはなぜか。</p>
委員	<p>それは当時のことを思えば、色々な経緯がありました、今後は載せたいです。</p>

委員	子どもも相談しに行きやすいと思うので。
委員	あいパルでこういうことやっているのだからという紐づけ、近所の子だけではなく、あいパル遊びに来たよ、あいパルって図書館だけではないのだよ、予約だけではないのだ、こういう掲示もあるのだね、ちょっと横目で見てくれる紐づけができたらいいなと思って。
委員	ぜひ、それは当時を知っている者からしたら、うれしいです。あいパルさんがいかにがんばっているかということかとも思います。
委員	あいパルの図書室の下の情報コーナーだけではなく、図書室につながりたいですね。
委員	ご当地キャラとかゆるキャラというのがいると思うのですがけれども、私は主任児童委員をしております、民生委員のミンジーというキャラクターがいます。やはりゆるキャラを作るにあたって、性別というものを意識させないために、「ちゃん」とか「くん」を付けない指示が出されているのです。 なので、ここに「ちゃん」が付いているということが私としては引っかかる部分です。「ちゃん」が付いてしまうと女の子というふうになってしまうので、ちょっと違うのかなと思います。
委員	それこそ逆に女の子を意識している。男の子でも「ちゃん」付ける場合もあります。
委員	ビリー「たん」だったらいいということですか。 おそらくそういうことになってきますよね。
委員	結構ご当地キャラは付けないよということ、名前付けを考えられているので、「ちゃん」と「くん」を付けるのは違うかなというのがひとつ。 あとはこのパンフレットを全体的に見て、学校で取り上げているということがあるかと思うのですが、やはりいろいろな家庭がありますので、だからこれが間違っているという書き方はまずいと思うのです。やはりお父さんも料理をしなければいけないの、洗濯をしなければいけないのというふうを書くのではなく、いろい

	<p>ろな家庭があって、その家庭を否定してはいけないという、いろいろな意見を否定するというのはダメなのだと教えてあげるのが、一番、小学校5年生なんかはいいのではないかと私は思います。子どもは自分の家庭が一番普通だと思っているので、他の人の家が間違っていると考え方が固定されています。合っている、間違っているがマルかバツで分けているくらい頭が固いのです。あまりこれが間違っているというのではなく、いろいろな人の意見を取り入れなければいけない、否定をしてはいけないということを書いてあげたほうがいいのではないかと私は感じました。以上です。</p>
事務局	<p>今ご意見があったゆるキャラの呼称の「ちゃん」付けについてですけれども、当時、著作者の方がいらっしゃって、「ちゃん」までも含めた作品としての名前であるかということを確認しなければ、ここで「さん」がいいからビリーさんリブさんにすることとをすぐにできるかどうかはわからないところです。</p> <p>そういった契約内容を確認しますが、性別がないものとして捉えられての、胎児の勾玉のイメージです。ビリーちゃん、リブちゃん啓発活動を実施しているので、現代の理念とは少しマッチしないかもしれないのですが、以前からこれで推進しているものですので、よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>ビリーちゃん、リブくんだったら問題があるかと思うのですけれども、ちゃん、ちゃん、なので。</p>
委員	<p>他の子たちに名前はついていないのですか。</p>
委員	<p>あれはみんなビリーちゃん、リブちゃんなのですよ。総称なのですよね。緑は何くんとかはないですよ。</p>
事務局	<p>色使いとかのところで、先ほどおっしゃっていたレインボーちゃんのような形での配慮という姿勢を見せる方向でいいかなと。</p>
委員	<p>そうですね。</p>
委員	<p>胎児というのは小学校5年生が分かるものなのかな、勾玉というのは分かっているのかということは思いました。難しくないのでしょうか。</p>

委員	小学校2年生で胎児の勉強はなさっていますよね。なので、胎児は分かると思います。
委員	大人というのも小学校1年生とかで習うものなのですか。
委員	漢字の読み方ですか。大人はもう少し後だと思います。
委員	でも、5年生では大丈夫。だからどの辺りなのかと思いました。では、漢字としては出ているものは大丈夫だということですね。
委員	私も先ほど漢字を見ていて。
事務局	漢字に関しても一つ、こちら作成にあたっては委員の皆さんの意見はもちろんです、教育委員会の事務局のほうに必ず確認をとってからの発行になります。ですので、逆にここはという意見に対して少し思う通りにならない形での発行になる可能性もあるところだけご承知おきいただきたいところです。
委員長	前回このパンフレットを作ったときは、原案通り、通していただいたのでしたか。教育委員会とご確認いただいて、その場合は再修正で戻ってくるということになるのでしょうか。
事務局	年度内にデザインして印刷までかける予定ですが、もちろん皆様にお諮りはします。任期の都合上次回の11月の会議で必ずお諮りできるか、そこでお諮りするにしても戻しについて再度諮る委員さんは必ずしも一緒でない可能性はございます。
委員長	あとはご提案があった、どこに何を書くか、ボリュームレイアウトの案文についてある程度この場でまとめてから事務局にご修正をお願いするのがいいのではないかというお話だったのですけれども、いかがいたしますか。
委員	今事務局が聞いて下さっているのもう大丈夫だと思います。
委員長	大丈夫ですか。強いて言えばビリーちゃん、リブちゃんの説明はいるのかなという感じはしました。ただキャラクターだけが存在しているのでいいような。

委員	そうですね、いろいろな色のビリーちゃん、リブちゃんがここにいて、この子たちが戸田市の男女共同参画キャラクターですよということがあれば十分かなと。
委員	アンケートの認知度は低かったですけれども。
事務局	戸田市の男女共同参画のキャラクターであるということに留める方向で進めます。
委員	これが公式のキャラクターですよ、そしてあいパルがありますよ、できればつばさがありますよというものが並んでいけば、困ったら相談できるよというところですよ。意識しないで生きていける、暮らしていける子は、変な話心配なくやっていけるなかで、男女共同参画が気になる子というのほどこか悩んでいる、苦しんでいる子だと思うので、そういう子が困ったときに、友だち同士や親などで困ったときにつなげられる場所をちゃんと示せば十分なんじゃないか、ビリーちゃん、リブちゃんの由来まで伝えなくても大丈夫なんじゃないかと思います。
委員長	ではこれまでの議論を、結構盛りだくさんなのですからけれども、反映していただくような形で、次回11月ですね。
委員	先程、ここにあいパルの写真を載せてもいいのではないですかみたいなお話が出ていましたけど、私たちこれを相談したときに、この外のビルみたいな景色はなんですかって言ったら担当課の方が、覚えてらっしゃいますか、戸田のイメージでこれを作ったのですっておっしゃってまして。
委員	ここにあいパルが載っても良いのではないかな。ビリーちゃんたちがいてもいいし、あんまりあいパルばかりを出すのは、条例でどうあいパルを扱っているかによるかと思いますが。この建物はちょっといかがなものかと。あの時も出ていたから今回も一言。以上です。
委員長	はい、ではこれでこの議題は終わりにさせていただきたいと思います。では、次に戸田市パートナーシップ・ファミリーシップ制度に係る届出について事務局からお願いします。

事務局	【報告】戸田市パートナーシップ・ファミリーシップ制度に係る届出について、事務局より報告
委員長	はい、ありがとうございます。連携協力自治体というのは今どれくらいの規模になっているのでしょうか。
事務局	はい、県内63市町村あるのですが、川口市がまだこのパートナーファミリーの制度を導入していないので川口市を除く62市町村、連携しております。
委員	自治体のところに今おっしゃっていただいた数字を入れたらいかがですか。今ホームページを拝見したら自治体は次の通りです、とって羅列なのですね。県内63中62ですっていうふうに。カッコ書きで入れたらそしたらもうすぐ100%であると。
事務局	川口市は制度を年度内に作るという、連携にも乗るといような意思を示していらっしゃるの、その際には載せられたらいいかなと思います。
委員長	ではこちらよろしいでしょうか。続いて、その他について事務局からご説明をお願いします。
事務局	【その他】(1) 上戸田地域交流センターイベント(ピンクリボンフラ)10月13日(日)での啓発活動について(2)第4期最終回の議題について、事務局より説明
委員長	それでは、今ご案内があった2点のお話について、皆さまからご意見等ありましたら、お願いいたします。 1つ目のことについて、あいパルから何かご案内ありますか。
委員	ご案内出来ることが、現時点ではあまり明確にはなくて、日付だけ、先ほど事務局からいただいたとおり、今年の10月13日、日曜日、3連休の中日なのですけれども、ピンクリボンフラということで、1階の多目的室や広場を使ってイベントを開催いたします。3回目になりますけれども、今回アイロンビーズですね、昨年のあいパルの周年イベントで開催したイベントになるのですけれども、同様の物を1階の男女参画情報コーナー付近にスペースを作ってやる予定になっております。

	<p>時間もピンクリボンフラのタイムテーブルが決まり次第決定しようと思っております、オープニングですとか、講師の方の講演会がありますので、そこにかぶせないようにしておりますので、時間はまだ未確定ではあるのですけれども、今後、事務局にも決定事項等は共有させていただいて、ご連絡をしていただくことになっておりますので、ご確認いただけたらと思います。よろしくをお願いします。</p>
委員	<p>前回に、有志での啓発活動について、ボランティアとしてとか、ということで、私よくわからないまま終わったのですけれども、やはり啓発活動はあった方がいいと思うのですね。</p> <p>それに関して担当課がやるのに、私たちが今のピンクリボンなどもそうですけれども、お手伝いでお声かけていただいて、参加ではなく協力、お手伝いをするという形でやっていくぶんには大丈夫ということですね。</p>
事務局	<p>ご認識としては、おおむねその通りでございます。昨年度最後の会議で有志による啓発活動を今後していただかない方向でとお話しましたけれども、前回の会議ではそこについて納得感が得られず、なかなか共通理解に至らなかったなということでした。有志の方の活動と銘打ってもなかなか皆さまお忙しく、こういう集まりに対してもハードルもありましたので、今後、市で啓発活動をやらせていただきますが、もちろん私どもだけでは限度もありますので、ぜひお力をお借りさせていただきたいです。皆さんにやってくださいと全部お願いするのではなくて、私どもで企画をしたり、いろいろ準備を揃えるところに、なにかしら入っていただければお願いをしたいです。あいパルのイベントに関しても、私ども市で指定管理施設、男女共同参画推進事業を担っていただいておりますので、イベント情報があればお手伝いについてのお願いさせていただく予定です。</p>
委員	<p>そのイベントに関しては、担当課で例えば年3回やります、それに予算をつけていますということで、進めていかれるということでもよろしいのですか。紙とかいろいろなものにお金がかかる部分、こちらはお手伝いのみですよ</p>
事務局	<p>私どもの方でイベントを独自企画するというよりはどちらかというと、あいパルさんに担っていただくところに参加するとか、</p>

	<p>市内の各種イベントの中で啓発に参加させていただくイメージです。予算については啓発グッズの作成予算はとっております。他にも消耗品、紙等については市の消耗品予算から支出をする予定ですので、そこについては協働推進課予算でやらせていただきます。</p>
<p>委員</p>	<p>わかりました。ここの有志の活動だとしたら私たちがやるので、その辺が市の方とどうなっているのか、今までずっと心配していたので、今回そこはクリアになったので安心しております。</p> <p>あと、いつも言うのですけれども、担当課の方たちが、手弁当でやっていらっしゃるのが困るなど思ったので、それはちゃんと仕事としてということだとしたら、私たちも気持ちよくお手伝いできるかなという、その確認も今回したかったので、またぜひ継続して、クイズなどやっていけたら楽しいなと思っています。</p> <p>私たちも、勉強になりますし力になります。参加しない方、手伝えない方もいらして、クイズしてというような参加の仕方、関わり方もあるかと思いますので、今日はほっとしました。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。ぜひイベントについても、この今後ピンクリボンフラだけではなく、今後の機会は皆さまに情報提供ですとか、ご協力のお願いについて出させていただきますので、何卒よろしくお願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>あともう一つ、参加したいのですけれども皆さんお忙しいので、だから前は募ったら結構大勢参加があって、「私1時間でいいの」みたいなこともあったのですけれども、結構参加できないこともあると思うので、その辺もすみません、ご配慮お願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>委員さんとしてお願いしている活動は、この委員会に出ていただくというところに留まっておりますので、その他は皆さまの任意での、それが出ないからだめとかそういったことも一切ございません。ご協力いただける方にご負担がない形でというのは重々承知しております。ありがとうございます。</p>
<p>委員長</p>	<p>そうしましたら、私の方から皆さんにお伺いしたいのですけれども、(2)の最終回の議題ですね。11月にもう一度、会議を開かなくてはなりません。あまり話すことがありません。決まっていますので、最後にぜひこういうことをやりたい、やってはど</p>

	うかということがありましたら、アイデアを出していただけるとうれしいです。
委員	今まで議題に挙がったアンケートの質的なこと。例えば、今回のこれは年末いつごろ、どこに入るのかな、私たち任期が終わってももらえるのかとか、そういうまとめのご報告みたいのものを聞きたいと思っています。
委員	次でもう任期が切れるので、やり残したのだけど、次の委員さんお願いします、とバトンを渡すのにぜひこれを継続して審議していただきたい議題がありますよね。 次の人お願いします、というのをまとめる文言というか、箇条書きでもいいですけども、ぜひこのことについて継続してほしい要望を次の委員さんに託すという回を少し時間があれば。やりっぱなしみたいになっちゃうので、その確認を追って、ぜひ。 残っている委員の方はもちろんそのまま継続されて、その通り進めると思うのですけれども、あの時に言っていたことだなと、なるべくわかるようにすることに時間を使えたらなと思います。
委員長	引き継ぎ書のような形ですね。ありがとうございます。
委員	例えば、パンフレットを新しくしましょうみたいな話が出てきて、議題にのぼるときでもう予算が決まってしまう状態です。できればある程度予算を度外視した状態で、例えば大人用のパンフレットをどうするのかとか、アンケートであがってきた条例の認知度が低いとか、あいパルに拠点があることを知ってほしいみたいなのところに対して話したいです。あとは、男女共同参画推進にまつわる活動をもう少しデジタル化してもいいのではないとか、そういうどう作ってみたいというところとか。 時間がないから、予算がないから、今年は決まっているからというところに関わらないアイデアみたいなのも含めて話し合えるといいかなと思います。
委員長	確かにそうですね。以前は次年度の予算策定のところから、事業を積み上げていって、これにいくら、これにいくらで予算申請をお願いします、みたいな感じでしたよね。
委員	そうだった気がするのです。すごいなにか予算にうるさい会みた

	いな感じなのですけど。本来、その方がいいのかな。
委員長	そうですね、その方が自分たちで予算策定に関わってれば、どれくらいの予算規模でこれくらいのことができるのだということも、共通理解もできやすいですね。
委員	そうでしたね、自由度がきくというか。
委員	取れなかったら取れなかったで、取れるようにするにはどうしようみたいな話も出てきますし。
委員	他市でどのような方法をされているのかというのが全く入ってこないで、知りたいなという気持ち大きいです。 やはり大人もそうなのですが、小学校や中学校で男女共同参画をどのように扱っているのかというのも少し気になるので、他市の学校でどのような扱い方をしているのかと興味として湧いています。
委員	興味でいうと、今の若い人たちとか子どもたちの感覚をもうちょっと知りたいなと思っていて。本当に違うのですよね。で、私たちとしてはこういうところが大変なのではないかという前提で、いろいろなことを考えて提案したりしているのですが、それ自体がそもそももう結構古いのではないかとかいわれている。 中学生の子どもが、合唱祭実行委員会に参加したのですが、昔は男子1人、女子1人でクラスの代表を出していたと思うのですが、今はそれがないらしいのですよ。行ったら、実行委員会が全部女子で、男が1人だったっていうのですよね。そうすると選曲とか、演出とかの好みも偏ってしまって逆に難しいみたいなのがあったりして。なるほどなあと思って、全然私の発想にない悩みごととかが実はあるのかなと思っていて、若い人たちとか子どもたちとかの今、どういう取り組みをしていてどういうことが起きているのかとか知れる何らかのチャンスがあるとうれしいなと思っています。
委員	男女共同参画の内閣府のところで意見を言うような委員会に入っている方にお話を聞いたのですが、私が最初に男女共同参画以前、男女平等という時代のころと同じことを今の時代で今の問題としておっしゃっているのにあ然としたのです。

	<p>やはり、女が働きながら家のことは女の仕事になっているし、という本当に基本的なことです。何が変わったのだろうかというか、その委員会に出ている方が私たちに伝えることも30年前くらいと変わらない、そのときに衝撃を受けて自分ではたと気付いて、そうだ母がやっている、父は何にもやっていない、靴磨きは私がやらされている、みたいなそういうところ、そのギャップ。今回資料を事務局にお願いしているのですけれど、自分は、体は女ですけど気持ちは男というのが中学1年生がもう公にちゃんとみんなの前で言えるというギャップ、その辺を私たちはきちんとつかんでいかなければいけないと。</p> <p>パートナーシップについても大村市が男性の世帯主に対し、パートナーを夫(未届)とする住民登録を実施した。法的には変わっていないのですが、情報をなるべく共有できたらいいなと思います。事務局はメールでいろいろな情報をくださるので、なかなか、見られないのですが、今月まだ可能ならぜひオンライン講座等を見たいと思います。1回でもZoomとか、ビデオ画像に参加すると頭の中がモヤモヤしていたものが、少し見えてくることがあります。その辺も積極的にやっていけるような話ができたらいいなと思います。だから、皆さんがどこか行ったとか自分はこの辺にアンテナ張っているというのを共有していけるような。今期で必ず終わりののかどうか、その辺は置いておいて。他に、本当に小学生の方のこととか中学生、大学生とかが分からないので知りたいです。</p>
委員	<p>自分の情報を更新しようとしても、例えば今はイクメンという言葉を使っていたのを、ともそだてという言葉に内閣府が変えているわけです。だから若い方の情報とかを勉強、自分たちの知識になる情報の更新というのに、すごく同意します。</p>
委員	<p>パンフレットの見直し、慌てて何を答えればいいのかと思うとネットを見たら全国的にあまり出ていないんですね。越谷市はいつも埼玉で頑張っているなと私は思うのですが、私の見た範囲では、プリントアウトできるのは5市くらいしかなかったです。越谷では「越谷市男女共同参画推進条例」を見てみようという小学校6年生へのリーフレットも見ましたけれど、全国で市が出していないのだと思いました。</p>
委員長	<p>そうでもないはずです。</p>

委員	市でなく県が出しているところもあるので。
委員	拾い方が悪かったのかもしれませんが、意外と目には入ってこない。でも、勉強になりましたし面白かったです。
委員	実際、やはりPDFで、例えばアップロードしようというのも、本来的にはもう古いのですよね、今の子どもたちに合っているか合っていないかと言ったら、もうフィットしていないと思うのです。だから戸田市が先導してやっっていこうとなったら、やっぱりもう少しデジタル化をした方がいいのではと思います。
委員	そうですね。それとあと戸田市も負けずに出していただきたいなど。
委員	相手に届くように発信していただかないと、拾っていけないと思います。
委員長	それはそうですね。 では、情報発信の仕方も含めてご検討していただければと思います。本来でしたら、まだご発言ない方のお話も聞きたかったのですが、すみません。なにかご意見がある場合は、私か事務局にお伝えいただけますとありがたく思います。 では、これで本日の内容を全て終わりにさせていただいて、議事は事務局にお返ししたいと思います。
	4 閉会